

CT検査を受けられる方へ

CT検査について

この検査は、エックス線を使いコンピュータ処理により、体内を画像化するものです（輪切りのイメージです）。苦痛のない検査ですが、息止めや体を動かさない等、簡単な制約があります。また、必要に応じて造影剤を使用する場合があります。検査は通常、5～15分程度で終了します。

注意事項

1. 腹部・骨盤部の検査の方は検査**3時間前から絶食**になります。水分の摂取は可能ですが、炭酸飲料、乳飲料等のご遠慮ください。
2. 常用薬はいつも通り服用してください。ただし、次に挙げる糖尿病薬を服用している方で腎機能が悪い場合、造影検査をできないことがありますので、主治医にご相談ください。

メトグルコ メトホルミン グリコラン メタクト エクメット
イニシンク ジベトス ブホルミン メトアナ

3. ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往のある場合、および重篤な甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症)のある場合、造影剤を使用できません。
4. 腎不全、ぜんそくの場合、造影剤を使用できない場合があります。
5. リブレ等の持続血糖測定器がある場合、検査の直前に外していただきます。
6. 植込み型除細動器（ICD）がある方は検査できない場合があります。
7. 妊娠している可能性のある方は、診察時と検査前に必ずお申し出ください。
8. 妊娠中の方は、造影剤を使用できないことがあります。
9. 撮影部位に金属がないようにしておくと、検査がスムーズに行えます。

造影剤の副作用

CTで造影検査をする場合には、ヨード造影剤を注射します。

造影剤は、病気の有無や症状をより正確に評価するために用いられるものです。

CTの造影剤は比較的安全な薬剤ですが、他の薬剤と同様、まれに副作用が起こることがあります。副作用としては次のようなものがあります。

1. 軽度 : はきけ、かゆみ、発疹、頭痛等で、一時的なものが多い。
基本的には治療を要しません。(頻度は50人に1人程度です。)
2. 重篤 : 呼吸困難、血圧低下、意識障害、心停止等で、治療が必要となります。
非常にまれです。(頻度は2500人に1人程度です。)
3. その他 : 造影剤を注入する際、血管外に造影剤がもれて腫れや痛みを伴うことがあります。時間がたてば自然に吸収されますが、痛みが強い場合には処置が必要となります。

当院では、これらの副作用にすばやく対応できるような体制をもとに検査を行っています。
検査の際に体の不調があれば遠慮なくご相談ください。